

授業紹介

英米文学研究 1 [担当教員： 鴨川 啓信]



「文学研究」って何をするの？

英語の小説や詩を読むの？ ← 少しだけ正解です。

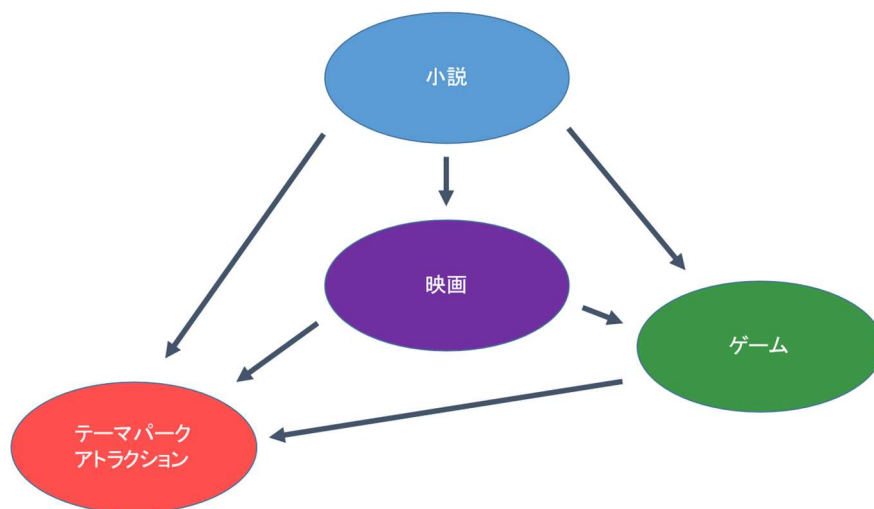
この授業では、物語がかたちを変えて親しまれる現象について考えます。

たとえば、『ハリー・ポッター』という「物語」について考えてみましょう。

- ・小説を読んだ
- ・映画を見た
- ・ゲームをした
- ・USJの魔法ワールドエリアを楽しんだ

色々なかたちで『ハリー・ポッター』に触れたことがあると思います。

つまり、色々な『ハリー・ポッター』があるのです。



- ・映画版は、場面が視覚的によく分かるけど、小説版ほど詳しく描かれていない
- ・小説版は、エピソードや情報は多いけど、読むのに時間がかかる
- ・テーマパーク版は、世界に入ったみたいを感じるけど、ストーリーが薄い

バージョンごとに違いがあります。

「物語」が色々なバージョンへと展開するのは身の回りに多くありますよね。
たとえば、自分の好きなマンガ作品が

- ・アニメ作品になった
 - ・実写映画作品になった
 - ・イケメン俳優主演のミュージカル作品になった
 - ・スマホのゲームアプリになった
- etc ...

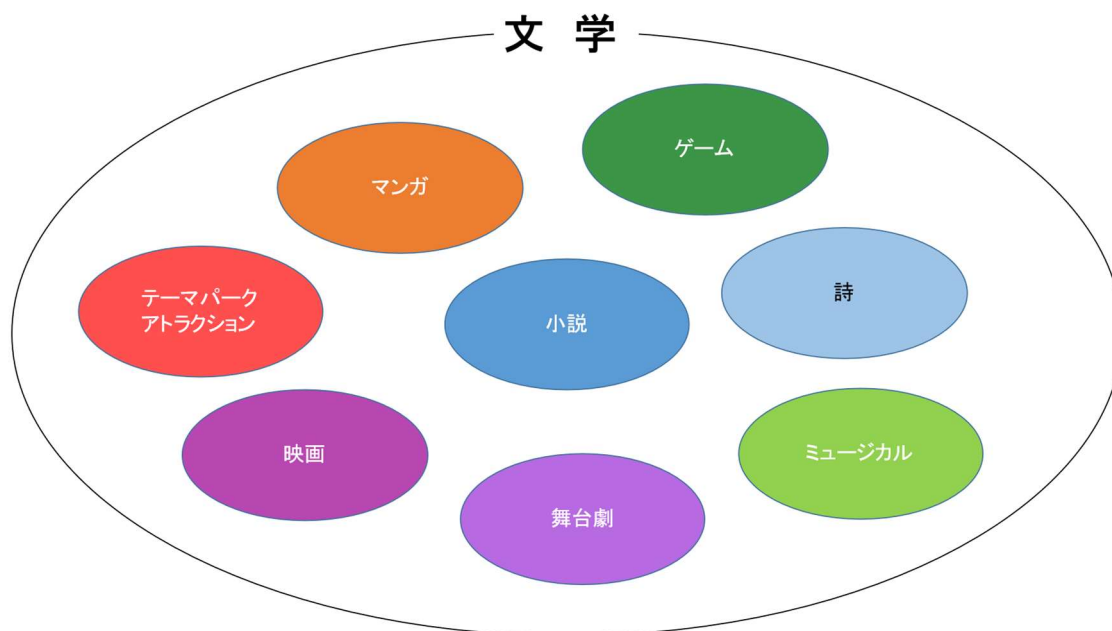
このような現象や、作られた作品のことを **アダプテーション** と言います。

アダプテーションを知れば、現在の物語文化がよりよく見えてきます。
というのも、物語の各バージョンがそれぞれ補完しあっているからです。

USJ の魔法ワールドエリアは、『ハリー・ポッター』の映画を見ている方がより
楽しめるはずです。また小説を読んでいると、より詳しい情報を得られます。

つまり、英語の小説を読むだけでなく、様々なバージョンを見る／参加すること
も「文学研究」なのです。

アダプテーションでの「文学」の考え方は ↓ のようなものです。



この授業では、具体例を取り上げながら、アダプテーションの性質や問題点を学んでいます。